

平成 26 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき 22 市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成 26 年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成 27 年 3 月

青森県農林水産部長 成田 博

目 次

調査の要領	1
-------	---

結果の概要	2
-------	---

対前年比較表

第 1 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）	12
第 3 表	月別漁獲数量比較表	14
第 4 表	月別漁獲金額比較表	14
第 5 表	分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表	分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表	主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表	主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表	漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表	漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表	市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表	市町村別漁獲金額比較表	21

県計表

第 1 表	年 総 括 表	22
第 2 表	月 別 表	36

市町村計表

第 1 表	魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表	漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表	月別漁獲数量及び漁獲金額	71

調 査 の 要 領

1. 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

2. 調査時期

毎 月

3. 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4. 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5. 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

平成 26 年の青森県の漁獲数量は 218,644 トン、漁獲金額は 480 億 2,374 万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で 32,789 トン (17.6%) 増加し、漁獲金額では 33 億 6,387 万円 (7.5%) 増加した。

(2) 主な増減要因

漁獲数量、漁獲金額が前年と比較して増加した主な要因は、陸奥湾において平成 24 年夏季に発生した高水温及び平成 25 年 2 月から 3 月に発生したへい死等の影響を受けた「ほたてがい (稚貝/半成貝/新貝)」の漁獲数量が回復してきたこと、また、「まいわし」、「さば」等の漁獲数量が増加したことによるものである。

(3) 過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較して、漁獲数量で 10,024 トン (4.4%) 減少し、漁獲金額では 4 億 1,126 万円 (0.9%) 増加した。

漁獲が好調であった魚種は「まいわし」(漁獲数量対平年比 588.1%)、「たら」(124.0%)、「さば」(118.6%) 等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「するめいか (海外)」(14.4%)、「あかいか (近海/海外)」(36.0%)、「するめいか (近海・船凍)」(75.1%)、「ほたてがい (半成貝)」(79.6%) 等であった。

(4) 過去 10 年間の平均との比較

平成 26 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量で 37,811 トン (14.7%)、金額で 40 億 4,091 万円 (7.8%)、それぞれ下回っている (図 1、表)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁 獲 数 量		漁 獲 金 額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
昭和63年	841,511		96,007	
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成16年	296,063		60,606	
平成17年	289,662	△ 2.2	56,914	△ 6.1
平成18年	278,430	△ 3.9	54,675	△ 3.9
平成19年	295,695	6.2	57,217	4.6
平成20年	261,354	△ 11.6	53,171	△ 7.1
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,855	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成16年～平成25年 までの平均 (A)	256,455		52,065	
平成26年／(A)%	85.3 %		92.2 %	

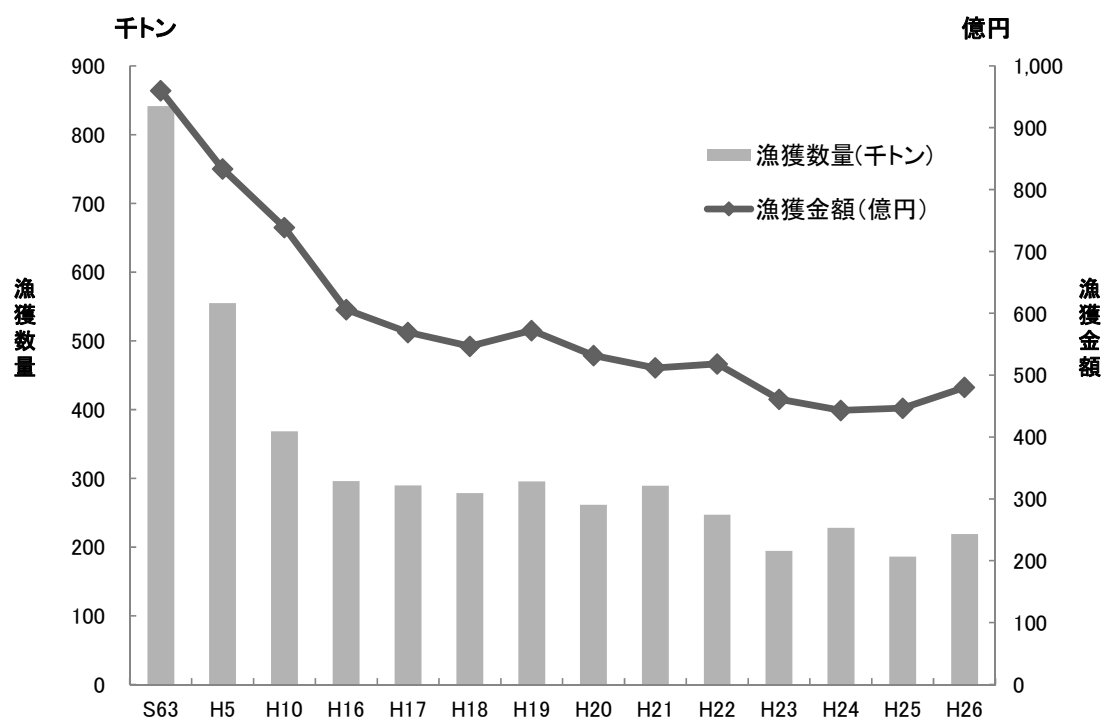


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

平成26年の漁獲数量を月別にみると、9月が33,223トンで最も多く全体の15.2%を占め、次いで10月の31,544トン(14.4%)、11月の31,088トン(14.2%)となっている(図2、第3表)。

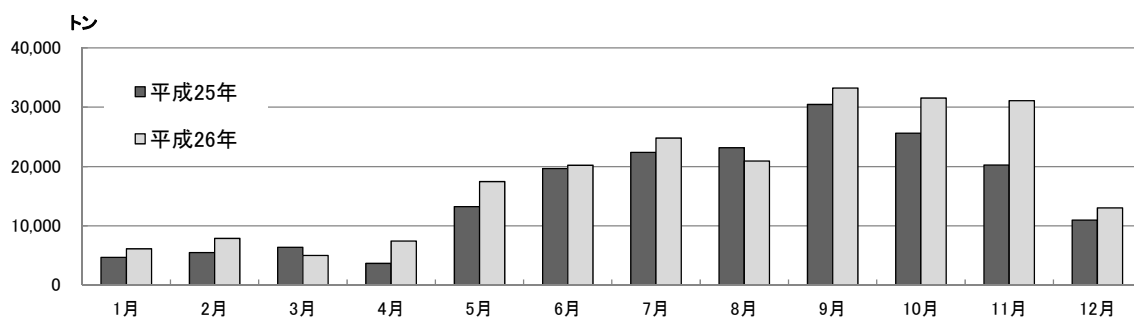


図2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

平成26年の漁獲金額を月別にみると、11月が76億9,456万円で最も多く全体の16.0%を占め、次いで10月の60億7,226万円(12.6%)、9月の53億5,523万円(11.2%)となっている(図3、第4表)。

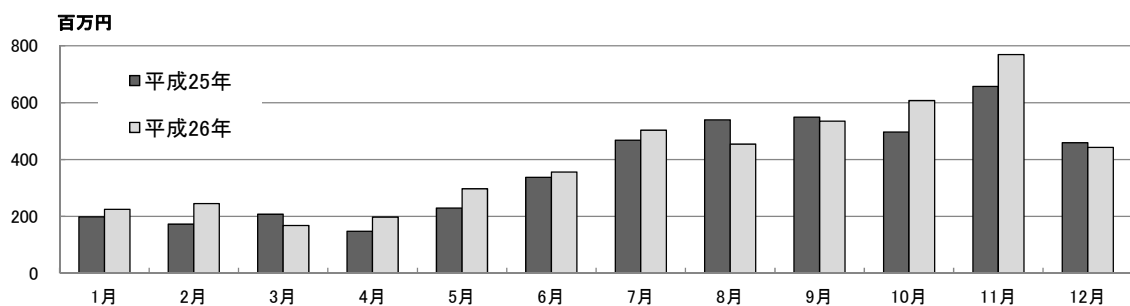


図3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、さば等の「魚類」が 98,772 トンで最も多く全体の 45.2%を占め、次いでほたてがい等の「貝類」65,124 トン (29.8%)、「その他の水産動物」52,498 トン (24.0%)、「藻類」2,251 トン (1.0%) の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は 16,141 トン (19.5%) 増加、「貝類」は 12,013 トン (22.6%) 増加、「その他の水産動物」は 4,888 トン (10.3%) 増加、「藻類」は 253 トン (10.1%) 減少した (図 4、第 5 表)。

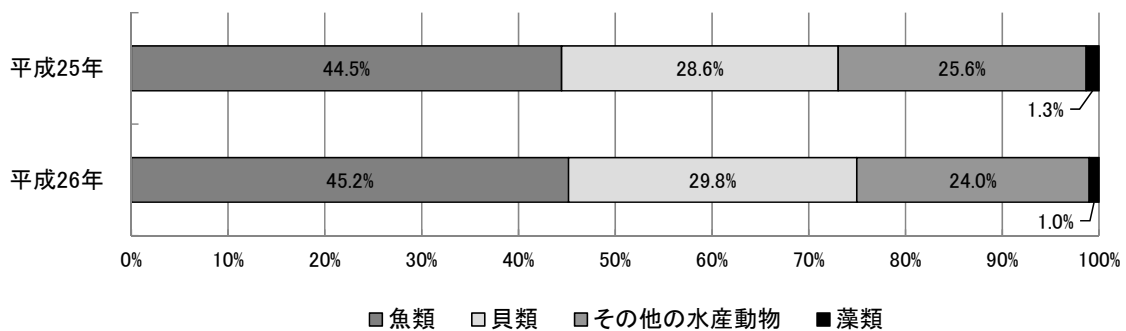


図 4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が 188 億 878 万円 で最も多く全体の 39.2%を占め、次いで「魚類」183 億 719 万円 (38.1%)、「貝類」103 億 2,689 万円 (21.5%)、「藻類」5 億 8,088 万円 (1.2%) の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は 20 億 789 万円 (12.3%) 増加、「貝類」は 19 億 3,668 万円 (23.1%) 増加、「その他の水産動物」は 5 億 4,076 万円 (2.8%) 減少し、「藻類」は 3,995 万円 (6.4%) 減少した (図 5、第 6 表)。

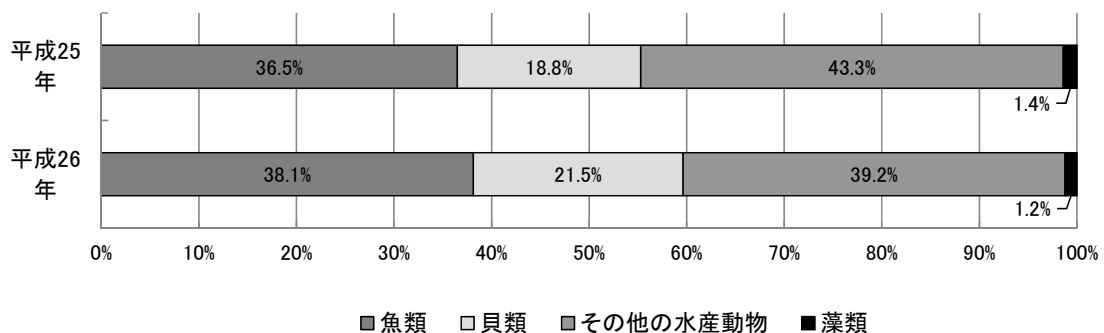


図 5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」64,253トン（構成比29.4%）、「さば」50,489トン（23.1%）、「するめいか」43,072トン（19.7%）、「いわし類」14,312トン（6.5%）、「ぶり」5,825トン（2.7%）、「たら」5,816トン（2.7%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「ほたてがい」12,188トン（対前年増加率23.4%）、「まいわし」9,640トン（264.9%）、「さば」8,380トン（19.9%）、「するめいか」3,063トン（7.7%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主魚種及び減少数量は「すけとうたら」1,078トン（対前年減少率16.6%）「かたくちいわし」1,047トン（50.3%）、「さけ」663トン（14.7%）、「たら」419トン（6.7%）となっている（図6、第1表、第7表）。

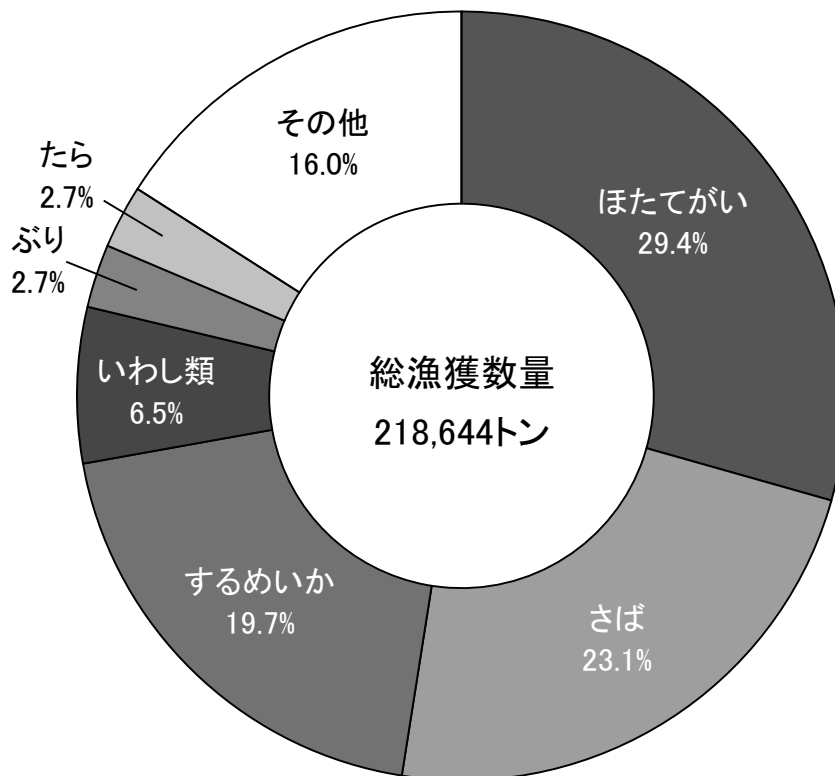


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「するめいか」123億3,386万円（構成比25.7%）、「ほたてがい」97億4,304万円（20.3%）、「さば」52億8,692万円（11.0%）、「なまこ」26億5,561万円（5.5%）、「まぐろ」24億3,273万円（5.1%）、「さけ」15億7,072万円（3.3%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「ほたてがい」19億9,154万円（対前年増加率25.7%）、「まいわし」7億2,993万円（290.3%）、「あかいか」6億4,684万円（73.2%）、「さば」4億494万円（8.3%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「なまこ」11億96万円（対前年減少率29.3%）、「たこ」1億5,301万円（22.9%）、「うすめばる」8,116万円（25.3%）、「ほや」5,960万円（53.3%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

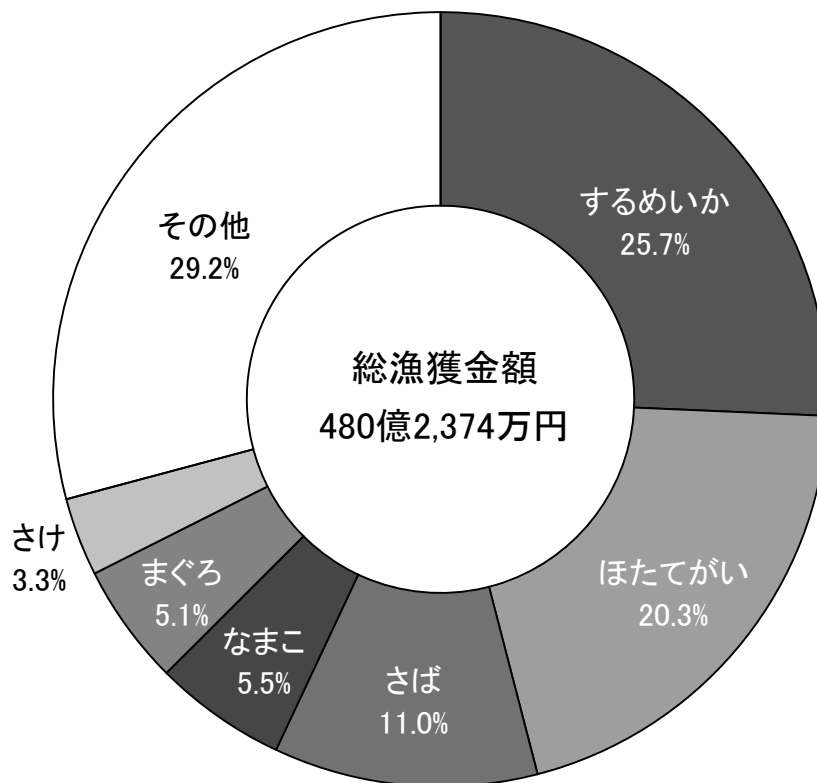


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「まき網漁業」が70,210トン（構成比32.1%）で最も多く、次いで「養殖業」62,071トン（28.4%）、「いか釣漁業」28,619トン（13.1%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は「まき網漁業」17,423トン（対前年増加率33.0%）、「養殖業」10,890トン（21.3%）、「沖合底曳網漁業」4,160トン（21.6%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「いか釣漁業」1,892トン（対前年減少率6.2%）、「小型定置網漁業」934トン（9.6%）「延縄漁業」755トン（41.0%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「いか釣漁業」が97億5,427万円（構成比20.3%）で最も多く、次いで「養殖業」93億334万円（19.4%）、「まき網漁業」73億292万円（15.2%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「養殖業」17億3,239万円（対前年増加率22.9%）、「沖合底曳網漁業」14億201万円（35.5%）「まき網漁業」11億4,976万円（18.7%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「いか釣」7億8,599万円（対前年減少率7.5%）、「刺網漁業」4億8,539万円（19.1%）、「延縄漁業」2億4,522万円（30.5%）などとなっている（第10表）。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が119,419トンで最も多く全体の54.6%を占め、次いで平内町13.6%、むつ市5.1%、青森市4.7%、外ヶ浜町4.0%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、八戸市23,141トン（対前年増加率24.0%）、平内町4,947トン（19.9%）、青森市4,600トン（80.2%）、むつ市1,487トン（15.5%）ほか10市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、中泊町491トン（対前年減少率26.1%）、横浜町488トン（9.0%）ほか6市町村となっている（図8、第11表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が209億5,336万円で最も多く全体の43.6%を占め、次いで平内町11.0%、むつ市7.9%、東通村6.2%、深浦町4.8%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、八戸市25億7,094万円（対前年増加率14.0%）、青森市4億1,840万円（38.8%）、むつ市3億5,246万円（10.3%）、大間町2億9,895万円（18.3%）ほか11市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、中泊町2億5,743万円（対前年減少率24.7%）、野辺地町5,714万円（6.2%）、おいらせ町2,511万円（11.0%）ほか4市町村となっている（図9、第12表）。

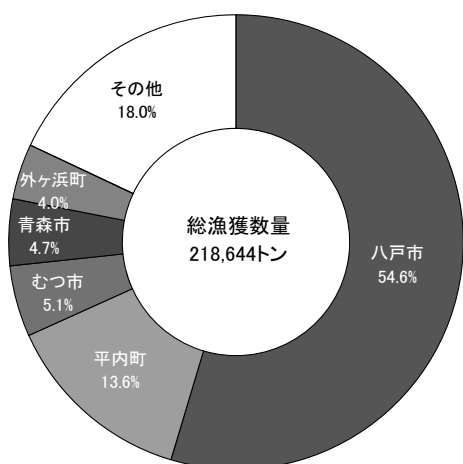


図8 市町村別漁獲数量の構成比

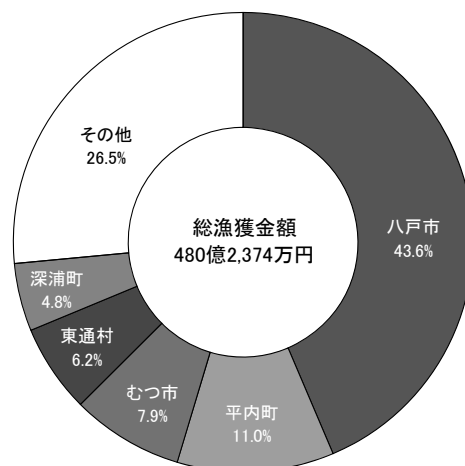


図9 市町村別漁獲金額の構成比